

<その他、取組に特徴のある事例>

〇バイオマスの活用

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	千葉県南房総市 <small>みなみぼうそうし</small> 沓見吹代 <small>くつみふきしろ</small>			
協定面積 24.9ha	田 (80%)	畑 (20%)	草地	採草放牧地
	米	野菜		
交付金額 159万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農用地の維持管理費		%
		農道の維持管理・補修等		50%
		役員報酬		%
協定参加者	農業者 76人			開始:平成12年度

2. 取組に至る経緯

高齢化が進む中、当集落は耕作放棄地発生防止の為、従事者相互の連携を強め共同取組活動はもとより、高齢者のフォロー（耕運、草刈り等）を集落全体で実施している。

そのような状況のなか、共同取組活動で発生した下草等の処理に頭を悩ませていた。

3. 取組の内容

当集落は、市で実施している堆肥を活用した環境保全型農業推進（畜産農家が生産する家畜ふん堆肥の流通を促進し、化学肥料や農薬の使用回数を減らす）とタイアップし、周辺林地の下草刈り等で発生した小枝、竹等を細断（チップ化）し堆肥化させ共同取組活動の一環として農用地に施肥し有機堆肥としての活用を図っている。



【竹木の粉碎】



【堆肥化】

[集落の将来像]

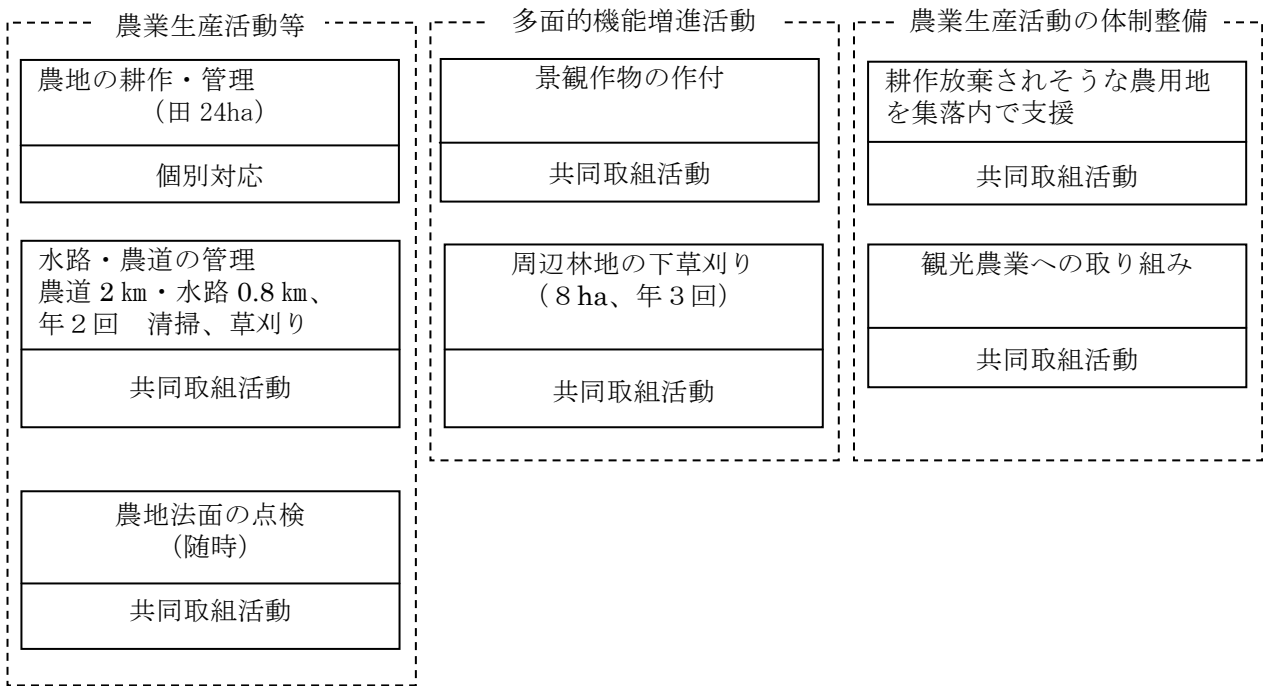
耕作放棄地の発生を集落全体で食い止め、体験農業等を実施し担い手を一人でも多く確保し、将来にわたって豊かに暮らせる地域づくりをめざす。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・耕作放棄防止、水路・農道等の管理、多面的機能増進活動、共同機械・施設利用
- ・観光農業への取り組み

[活 動 内 容]



4. 今後の課題等

他の集落との積極的な情報交換、また機械を共同利用することにより生産性の向上を図ると共に木材バイオマスの活用をさらに広範囲に推進して行く。

観光地であるため年間を通し観光客が往来するなか、温暖な気候を生かしシーズンを通した観光農業の取り組みを進めて行く。

[第 2 期対策の主な効果]

- 耕作放棄の防止